

体育教員が日本について英語で教えてみたら。 Vol.7

「気をつけて下さい。それは、な-adjective だから、、、」

形容詞の活用でよく授業中に口にする言葉です。Woodvale Secondary College に勤め出して 10 ヶ月が経ちました。中学 1 年生～高校 3 年生までの日本語の授業にアシスタントとして関わっていますが、昨年 9 月には兵庫文化センターにある土曜日本語講座を単独で担当する機会も得ました。生徒は中学生～社会人までの方々です。取り扱う内容は中学 2～3 年生くらいです。Beginners と Continuing の 2 講座を担当しましたが、ここでの授業内容を少し紹介したいと思います。

日本語の形容詞には、い-adjective と な-adjective があります。例えば、、、

い-adjective	いそがしい(busy)	きたない(dirty)	うるさい(noisy)
な-adjective	ひまな(not busy)	きれいな(clean)	しずかな(quiet)

語尾が「い」で終わる形容詞を い-adjective、「な」で終わる形容詞を な-adjective といいます。この 2 種類の形容詞は、様々な文法を応用するときに異なる活用をするので、非常に重要なのです。しかし、上に記したように い-adjective の対義語が な-adjective になるわけではありません。次の形容詞を見てみましょう。

たかい(expensive) やすい(cheap) おもしろい(interesting) つまらない(boring)
かんたんな(easy) むずかしい(difficult) さむい(cold) あつい(hot)
たいくつな(boring) にぎやかな(lively, busy) あかるい(bright) くらい(dark)

では、[A] は adjective です。] という表現をしてみましょう。

My room is dirty. → わたし の ヘや は きたない です。

となります。い-adjective の場合、形容詞のあとに、そのまま「です」をつけると正しく表現できます。しかし、問題は な-adjective の場合です。Japanese learner が最もよくする間違いは、次のようなものです。

My room is clean. → わたし の ヘや は きれいな です。

こんな日本語聞いたことありませんか？なぜそうなるのか不思議でしたが、日本語を教える立場になって意味がわかりました。[A] は adjective です。] という表現をするとき、な-adjective の場合は、「な」を消して、「です」を後ろにつけます。「な」を消さなくてはいけないのです。なぜ？わかりません。それが日本語における形容詞の活用ルールです。

My room is clean. → わたし の ヘや は きれいな です。

上で挙げた形容詞を使って、[A] は adjective です。] の表現を作ってみてください。

日本語はむずかしいです。でも、英語はかんたんなです。(←ね？そうなっているでしょ)

なぜ、こんな活用をするのか、例外はないのか自問していると、Language Team の先生に言われました。” Welcome to the linguistic world.”

